

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動学習特化型 児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和 朝倉教室		
○保護者評価実施期間	2025年2月8日		～ 2025年2月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数) 7人
○従業者評価実施期間	2025年2月8日		～ 2025年2月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門分野の職員が充実している	・療育前後や定期的に職員会、療育企画会議を行い利用者に応じた支援ができるようにしている	・利用者の課題に応じた支援が行うことができるように職員の資質向上を図る
2	・運動学習と決まったカリキュラムがある	・職員間での偏りがでないように定期的に研修等を行っている	・職員間で振り返りを行い、統一して運動学習を提供することができるように取り組む
3	・保育所等訪問支援を行っており、関係機関と情報共有が取りやすい	・保育所等訪問支援前後には、情報共有ができるようにしている	・関係機関と関係性をさらに築き、書面や電話等で相談できるようにする ・関係機関の要望により困っている場面を見ることができるよう日時調整を行っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・教室が狭く、完全個室がない。	・面談時にプライバシーが守れていない ・個別での対応が難しい	・衝立やパーティションを利用してプライバシー、個別対応をすることができるようにしている ・倉庫を購入して毎月利用しない器具は片付けてスペースを確保している
2	・経験年数の浅い職員が多い	・職員によっては利用者の対応や送迎ができない場合がある ・伝達は行っているが、直接支援業務もあり完全に行うことができていない	・業務チェックシートを活用して、伝達に漏れがないように取り組んでいる ・動画、資料に残して確認をしながら業務が行えるようにしている
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 運動学習特化型 児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和 朝倉教室

公表日 2025年3月14日

利用児童数

15人

回収数

7人

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1				・最大10名まで利用可能ですが、子ども達の活動に必要なスペースは十分に確保出来ています。 ・運動学習時はコースの設定、職員の配置を行い安全面に配慮して行っております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5	2				・毎日の職員配置数は平均5名以上の配置を行っています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	1				・視覚からも理解ができるように手順表を用いて、お子様が入室できる環境を整えています。 ・現在の利用者には支援はありませんが、必要に応じて職員が配慮するようにしております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	1				・職員は、発達障がい児の特性と対応、ワーキングメモリ、発達障害の困り感（運動・視知覚認知機能など）をテーマにした研修に参加して専門性の向上を努めております。 ・研修をする機会を設けたり、支援前後には情報共有をしていき子どもの特性に応じた支援ができるように配慮している。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	2	1	2		・土曜日、長期休み期間中に地域での催しにも昨年は参加致しました。 ・同じ事業間でも交流を致しました。 ・今後も継続的に活動する機会を作っていきます。
保護者 への	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2		1		・現在は家族支援プログラムは実施しておりませんが、今後検討していきます。 ・面談などの時間を活用して相談支援に対応しています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6	1				・保護者様には、日々の活動や気付きについて送迎時や連絡帳にて必ずお伝えしていきます。また職員につきましては、療育前後にミーティング等で細やかな気づきや課題、配慮すべき点について話し合い、ご利用の際に実施できるように取り組んでおります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	1				・送迎や面談の際には職員から積極的にコミュニケーションを取るよう心掛けています。また、保護者様から要望にも応えられるようにしております。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1		3	・現在は開催しておりませんが、来年度より定期的に保護者交流会の開催を行う予定です。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	1		1	・お子様や保護者様からのお問い合わせについては、迅速に対応し担当者からの連絡が必ず行うように徹底致します。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6				1	・連絡ツール等にその日の様子を細かく記載していくように努めます。 ・面談の場を設けて、より密な情報共有を行っていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5				2	・WEBサービスを活用して、今後も毎日の活動や教室の取り組みを積極的に配信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6				1	・事故やケガ等が発生した場合には、応急処置を行い、即時にご家族に連絡させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7				外出や料理を楽しみにしていて、うどん作り後は家でもうどんを食べられるようになりました。	・「社会性とコミュニケーション能力を養い、将来の自立に向けた支援をする」アルペン清和の理念に則り、療育の強化、活動の充実を図り、日々お子様が楽しみながら学べる環境を整えるための努力をしております。より子ども達の力になれるよう職員一同支援に努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6				1	・今後も保護者様と一緒に、お子様の社会性とコミュニケーション能力を伸ばし、将来の自立に備えた療育に力を注ぎ、保護者様とお子様共に、満足して頂ける支援に努めて参ります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	運動学習特化型 児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和 朝倉教室	公表日	2025年3月14日
------	---------------------------------------	-----	------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	4	3	・指定基準のスペースは指導訓練室等十分に確保出来ています。	
	2	4	3	・職員の配置は指定人員基準以上の配置をしています。	・人員増加を来年度より実施予定。
	3	6	1	・視覚からも理解できるよう手順表を用いて、お子様が生活できる環境を整えている。 ・現在の利用者に支障はありませんが、必要に応じて職員が配慮するようしております。	
	4	6	1	・毎日、事業所内の清掃と消毒を行っています。 ・生活空間は感染症対策もかねて、空気清浄機・加湿器等を使用して、過ごしやすい空間づくりを整えております。	
	5	4	3	・完全個別の部屋はございませんが衝立やパーティションを利用し個別で対応できるよう環境設定を行っております。	・完全個室ではないので、少し不便ではあるため、見直しを行っていく。
業務改善	6	7			
	7	7			
	8	6	1	・療育前後、職員会、療育企画会議を定期的に行い、職員全員で業務改善につなげています。	
	9	3	4		・現時点で第三者委員会などの外部評価は実施していない。
	10	7			
適切な支援	11	7			
	12	7			
	13	7			
	14	7			
	15	6	1	・HUGシステムアプリを活用しています。また、活動の様子や定期的に保護者様と面談等を行った際の記録も残り、全職員に情報共有ができるように確認もしております。	
	16	7			
	17	7			

一 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・毎日、必ず支援終了後に職員間でミーティングを行い、お子様に対する支援の振り返りと情報共有等をしておりません。 ・保護者等からの連絡帳による連絡事項は、ミーティング時に必ず共有し、支援内容に反映しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	・半年に1回以上モニタリングを行い、個別支援計画の見直しをしております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・サービス担当者会議や保育所等訪問支援等を行い、各関係機関と連携を取り組み支援体制を行うことができるように整えております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	・必要に応じて、情報共有をしております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1		・現在、対象となる利用者がいないため行ったことはございませんが、必要となった場合には行うように努めてまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		・今のところ機会はありませんが、必要に応じて検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		・今のところ機会はありませんが、必要に応じて検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		・今のところ機会はありませんが、必要に応じて検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		・今のところ機会はありませんが、必要に応じて検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	4		・今後、必要に応じて行う予定です。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		・現在は実施しておりません。今後は実施することができるよう検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2		・初回面談時に、アレルギーの有無を把握し、アレルギーのあるお子様については家庭と連携を図り対応しております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				